

# 2023統一地方選総括

選挙は最後の3日間が勝負。必死の若手候補が猛追し、予想を覆す展開に。固い地盤と組織票に守られ順当に票を伸ばす候補もいれば、優勢から接戦に転じ、想定外の苦戦を強いられた候補もいて悲喜こもごも。今回、県議選の4選挙区と4市町の議員選が無投票となった。わずか49票で当落を分けた選挙区もあり、有権者の1票は大きい。議員のなり手不足や投票率の低下は地方政治最大の課題である。



2023統一地方選挙が知事選の告示から始まった。知事選は保守分裂となった前回選挙から一転、与野党相乗りの現職と共産候補の対戦。杉本知事1期目の信任度が問われる選挙戦は当然、大差を付けて再選。得票率が過去最高の89・59%に達し、高い人気を裏付けた。陣営は選対引き締めの有権者63万人の半数、30万票以上を目標にしたが、投票率が伸びず28万2千票とわずかに届かなかった。

## 県民の付託に 如何に応えるか

杉本知事の1期目はコロナ対策や豪雨災害など危機管理対応に追われ「杉本カラー」が県民には見えにくかった。2期目は思う存分、福井県のために手腕を発揮してくれると大きな期待を寄せる。ただ明るいだけじゃない。北陸新幹線敦賀以西着工や使用済み核燃料中間貯蔵施設など重要課題に本県を背負って県民のために国に物言う事ができるか。真価が問われる。

## 最年少当選26歳 参政党初議席!

県知事選の告示以降、1カ月にわたり県内市町で論戦が展開された。この間、9つの選挙が行われ、144人が当選。最年少は26歳が2人、これを含め30代以下が16人。前回と比べ2人増えた。一方で、ベテランの現職にとっては厳しい結果となった。県議選では新人13人が当選



し、全体の3分の1を占めた。現職5人が落選し、80代で9期の重鎮3人も勇退。最年長は88歳から山岸猛夫氏の75歳と若返り、世代交代が進んだ。8年ぶりの選挙戦となった敦賀市議選では、新人7人が当選。37歳の河瀬太治氏が3位、32歳の三田村峻氏が4位、29歳の橋本彬穂氏が6位

# 後半戦の福井・敦賀市議選

## 11人超の大混戦 現職意地見せる

定数32の福井市議選は、現職新人合わせて43人が出馬。現職28人、新人は最終的に15人が名乗りをあげ、定数を11人超える大激戦が展開された。無所属候補は24人。政党公認候補は自民党9人、公明党3人、立憲民主党1人、日本維新の会2人、共産党2人、国民民主党1人、参政党1人の19人。女性候補は前回より2人多い現職2人、新人3人の計5人が出馬した。

市中心部に新人10人が出馬し現職新人入り乱れ、日中は市内全式を限なく回り、朝夕は地元巡回を徹底。候補者本人がマイクを握り、窓から手

を大きく振り「お願いします」を連呼。各陣営必至の戦いに反し有権者の関心は低く、投票率は過去最低を更新。

集計ミスで確定が遅れるハプニングもあったが、現職26人と新人6人が当選。加藤貞信氏をトップに、2位に前回トップの岩佐武彦氏、3位皆川信正氏、4位酒井良樹氏の現職4人が強固な地盤を固め3千票代に乗せた。

現職が上位当選する中、元パラリンピック金メダル選手の高田稔浩氏が2762票を集票し7位当選。女性新人候補の葛野早智代氏も2306票と善戦し議席を獲得。浦上逸人氏も2196票で空白の湊地区から初当選。宮岡勝也氏も1744票で参政党が県議選に続き、初の議席を獲得。



候補者乱立と投票率の低下で2千票を切った当選者が前回1人から4人に。現職の寺島恭也氏が参政党の宮岡氏に10票差で最下位当選。一方、現職の水島秀晃氏が前回の2400票から大きく票を落とし1669票で次点に泣き、同じく現職の石丸浜夫氏も6選は果たせなかった。

## 新人上位当選！ 29歳の女性議員

後半戦は県内で唯一、敦賀市長選が8年ぶりの新人同士の一騎打ちの戦いとなった。来春の北陸新幹線開業を見据えたまちづくりや、政府の原発最大活用方針を踏まえた立地自治体のあり方など、転換期のかじ取り役を決める重要な選挙だけに注目が集まった。前回現職に惜敗した米澤光治氏にとって絶対負けられない、勝つしかない選挙。自民党や約600の企業、団体の



推薦を受けても、米澤氏はもとより陣営は最後の最後まで

決して気を緩めることはなかった。その甲斐あって前川和治氏に3939票差をつけて初当選を果たした。前回の敗戦から4年、地道に丁寧な市民との会話を積み重ねた結果と言えよう。

一方、定数2削減の敦賀市議選も定数22に現職14人、元職1人、新人9人が立候補。8年ぶりの選挙戦となった。

現職全員が再選を果たし、新人7人、元職1人が当選。国民民主党の山本武志氏が労組票をまとめ2900票余りでトップ当選。今回注目の有馬茂人氏は2位で余裕の6選、河瀬一治元市長の息子、河瀬太治氏も知名度もあって3位、力野豊県議の娘婿、高城庄佑氏8位と上位当選を果たした。橋本彬穂氏が初挑戦ながら1472票で6位当選。29歳の女性議員が誕生した。一方、高畑徹氏と池田耕一氏の新人2人が惜しくも当選ラインに届かず落選した。